

# 第六学年菊組 国語科学習指導案

指導者 杉本 竜也

**単元** 構成を考えて、提案する文章を書こう「デジタル機器と私たち」(光村図書)

## 指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、感じたことや考えたことを伝えるために相手や目的に合わせて意見文や推薦文にまとめたり、自分が経験したことを俳句や短歌で表したりすることができるようになってきている。しかし、他者が納得するように、思いや考えを筋道立ててまとめることには課題がある。そこで、目的や意図に応じて文章の構成や展開を考えて書き表すことができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、文章全体の筋道が通り、説得力のある提案する文章を書くことができるように文章の構成を考えることができるようにする。このことは、筋道立てて考える力を養い、自分の思いや考えを広げることができる子供を育てる上からも意義深い。
- 本単元に関しては、第5学年「あなたは、どう考える」の学習で事実と自分の考えを区別して書くことや異なる立場からの反論を想定して自分の考えを述べることを学習してきた。本単元では、これらの上に立って、提案内容と根拠となる事実を結び付けて、分かりやすく伝わる構成を考えて自分の考えをまとめることができるようにする。このことは、第6学年での伝えたいことを効果的に発信する学習、中学校第1学年での伝えたいことを明確にして説明する文章を書く学習や根拠を明確にして自分の考えをレポートにまとめる学習へと発展していく。
- 本単元の指導に当たっては、自分の生活経験や社会情勢から感じたことや考えたことから自分の考えをつくり、説得力のある構成や記述の仕方を工夫して文章を書くことができるようにする。そのために、「デジタル機器との適切な関わり方」を題材に、自分たちができることを考え、提案することを教材として設定する。特に本時指導に当たっては、まず、導入段階では、既習を振り返り、伝わる提案する文章にするための構成を考えるという学習のめあてをもつことができるようにする。次に、展開段階では、モデルを比較して見付けた構成の要素を基に自分の考えをつくり、伝えたいことが伝わる構成について話し合うことができるようにする。最後に、終末段階では、本時の学習を振り返り、提案する文章における伝えたいことが伝わる構成について自分の考えをまとめることができるようにする。

## 目標

- 1 きっかけ、提案、まとめという提案する文章全体の構成や原因と結果、主張と根拠という段落の展開、文中の語句の係り方や語順、情報と情報の関係付け方や接続語を理解したり、使用したりすることができるようにする。
- 2 「デジタル機器との適切な関わり方」について自分が伝えたいことを明確にし、きっかけ、提案、まとめの構成や考えと理由、事例といった展開を工夫しながら提案する文章を書き、よさを見付けることができるようにする。
- 3 デジタル機器との関わり方の課題解決について関心をもち、意欲的に情報の収集、内容の検討、構成、記述、推敲といった文章を書く過程に粘り強く取り組み、自分の提案する文章のよさを見付けようとする態度を育てる。

## 計画(8時間)

- 1 デジタル機器を使う上での課題を出し合わせ、単元のめあてと見通しをもたせる。————— 1
- 2 デジタル機器との関わり方について自分の考えをまとめさせ、提案する文章を書かせる。————— 6  
(1)情報の収集について ----- ① (2)構成の検討について----- ② (2/2) 本時  
(3)書き表し方の工夫について ----- ② (4)推敲、清書について ----- ①
- 3 書き上げた提案する文章を読み合わせ、互いの文章のよさを共有させる。————— 1

**本時** 令和6年6月15日(土曜日) 第2校時 多目的ホールにおいて

- 主眼**
- 1 相手に伝えたいことが伝わる提案にするために、体験、調べたこと、現状というきっかけと提案の内容を、考えと理由や事例、原因と結果の関係がつながるように配列して、文章の筋道を整えることができるようにする。
  - 2 提案する文章の説得力を高めるために、相互評価したことを伝え合い、提案内容や体験、調べた事実について並べ替えたり、付加・修正したりして、よりよい文章の構成になるように、見直すことができるようにする。

**準備** 学習者用端末、モデル文

過程

段階	学習活動と予想される反応	具体的な支援 ※ICT活用
導入	<p>1 これまでの学習を振り返り、提案が伝わる構成になっているか確かめる本時のめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が伝えたいことが伝わる提案する文章にしたい。</li> <li>モデルを基に構成をするときに大切なことが分かった。</li> <li>自分の構成が伝わるものになっているか確かめたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お互いの構成を読み合い、よさや課題を伝え合って、構成を見直そう。</p> </div>	<p>○伝えたいことが伝わる提案にするための構成を話し合うめあてをもつことができるように、保存した前時の板書を基に学習を振り返る場を設定する。</p>
展開	<p>2 自他の構成を読み合い、伝えたいことが伝わる提案する文章の構成になっているか話し合う。</p> <p>(1) モデルを基に伝えたいことが伝わる構成の観点を確かめ、提案する文章の構成について自分なりの考えを説明する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>モデル文を基にした構成の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提案と理由のつながりがあるか</li> <li>事例同士のつながりがあるか</li> <li>事例と事例の関係が適切か</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>自分の提案文の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマホは止まって使う(提案)</li> <li>スマホの事故が多い事実(理由)</li> <li>ぶつかった自分の体験(理由)</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマホを止まって使うことを提案する理由として、事故が多いことと自分の体験で書こうと考えているよ。</li> <li>事故が多いという実際の結果についてその原因としてスマホを見て前を見ないからぶつかることを示したよ。</li> </ul> </div> <p>(2) 伝えたい内容と構成をするときに意識したことを伝え合い伝えたいことが伝わる構成になっているか相互評価する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【話し合いの進め方】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>相互評価をするための観点を確かめる。</li> <li>互いにどのような意図で構成を考えたのか説明する。</li> <li>構成に対して質問したり答えたりして考えを深める。</li> <li>話し合いを振り返り、考えたことを整理する。</li> </ol> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ネットやゲームは楽しいことが原因となって、中毒や依存症の人が増えているという現状がある。だからフィルタリングをしてもらうことで、できることや時間に制限をかけるとよい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットやゲームが依存症の原因になっていることはよく分かるよ。</li> <li>依存症とフィルタリングの関係がよく分からないな。</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>提案と提案理由の関係が繋がっていることが大切。</li> <li>自分の中では繋がっているように思っているけど読み手の立場から考えるとつながりが分かりにくいことがある。</li> <li>何が原因でどのような結果になっているのかを示すことで読んだ人を納得させることにつながりそうだ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>読み手の立場に立って、文章全体のつながりや原因と結果のような部分と部分のつながりを大切にして、構成をするとよい。</p> </div>	<p>○互いの構成についての考えをつくることのできるように、それぞれが考えた構成を共有し、自分の構成の意図を説明する場を設定する。</p> <p>○伝えたいことが伝わるよりよい構成にすることができるように、モデルを基につくった相互評価の観点を提示し、整合性と妥当性を観点に自他の考えを比較する場を設定する。</p> <p>○自分の提案に合う構成に作りかえることができるように、自分の配列や関係付け方を編集できるシートを配付する。</p>
終末	<p>3 本時学習を振り返り、提案する文章における伝えたいことが伝わる構成について自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み手の立場から考えて、原因と結果の関係が明確な、つながりのある構成にすることができた。</li> <li>提案と理由のつながりを意識したから説得力が高まった。</li> </ul>	<p>○伝えたいことが伝わる構成について自分の考えをまとめることができるように、作り変えた構成を共有し、よさを伝え合う場を設定する。</p>